

スピネトラム(商品名:ディアナSC)のイチゴ, ナス, 花き類などのアザミウマ類、トマトなどのコナジラミ類に対する防除効果

農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

野菜や花き類のアザミウマ類やコナジラミ類は薬剤抵抗性の発達により防除が難しい害虫である。そのような中、スピネトラムは両者に対して高い防除効果を示すことから、薬剤ローテーションに組み入れやすい薬剤であるため普及情報とする。

2 普及情報

- 1) スピネトラムはアザミウマ類に対して、対照薬剤のスピノサドやトルフェンピラドと同程度に高い殺虫効果や防除効果を示す(図1~5)。
- 2) スピネトラムはオンシツコナジラミやタバココナジラミに対して、対照薬剤のピリダベンやトルフェンピラドと同程度に高い殺虫効果や防除効果を示す(図6, 7)。
 - a 薬剤名 スピネトラム(商品名:ディアナSC)
 - b 有効成分, 物理化学的性状
 - a) 有効成分:スピネトラム 11.7%
 - b) 性状:類白色水和性粘稠懸濁液体
 - c) 毒性:普通物, 魚毒性:B類相当
 - c 主な適用作物と対象害虫
トマト, ミニトマト:アザミウマ類, コナジラミ類, ハモグリバエ類, ハスモンヨトウ
ナス:アザミウマ類, ハスモンヨトウ, ハモグリバエ類
いちご:アザミウマ類, ハスモンヨトウ ネギ:アザミウマ類, ネギハモグリバエなど
レタス, 非結球レタス:ハモグリバエ類, オオタバコガ, ハスモンヨトウ
キャベツ:コナガ, アオムシなど きく:アザミウマ類, オオタバコガ, ハモグリバエ類
花き類・観葉植物(きくを除く):オオタバコガ, ハモグリバエ類
 - d 使用方法
 - a) 使用時期:収穫前日まで(トマト, ミニトマト, ナス, いちご, ネギ, レタス, 非結球レタス, キャベツ)
発生初期(きく, 花き類・観葉植物(きくを除く))
 - b) 使用回数:2回以内
 - c) 使用濃度:2,500倍液(トマト, ミニトマトのアザミウマ類, コナジラミ類)
2,500~5,000倍液(上記以外)
 - d) 使用方法:散布
- 3) 本剤はスピノサド(スピノエース顆粒水和剤)と同じ作用機構グループ(IRACの分類による)に属する。また, ミツバチへの影響期間は3日程度(マルハナバチは1日程度), 天敵のスワルスキーカブリダニへの影響期間は少なくとも5週間である。

3 利活用の留意点

- 1) 使用前に容器をよく振る。
- 2) 使用量に合わせ薬液を調整し使い切る。
- 3) 散布液調整後はできるだけ速やかに処理する。
- 4) 蚕に対して影響があるので, 周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 5) 本剤の価格は100mlで3,200円程度である。

(問い合わせ先:農業・園芸総合研究所園芸環境部 電話022-383-8125)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

野菜のウイルス媒介虫等難防除害虫の総合的管理技術の開発試験 平成21～23年度
農作物病害虫防除等の新農薬並びに新肥料資材効果確認試験 平成20～23年度

2) 参考データ

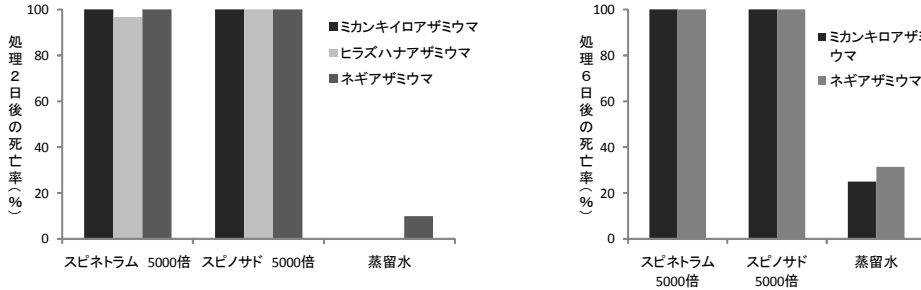


図1 アザミウマ類に対するスピネトラムの殺虫効果(左図:雌成虫, 右図:幼虫, 室内検定, 平成22年)

ミカンキイロアザミウマ: 所内イチゴ園場から採集, ヒラスハナアザミウマ: 蔵王町イチゴ園, ネギアザミウマ: 涌谷町コネギ園
雌成虫は食餌浸漬法(キャベツ葉), 幼虫はインゲン葉片に放虫後ハンドスプレーで散布。

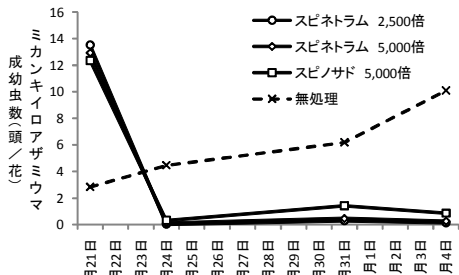


図2 イチゴのミカンキイロアザミウマに対するスピネトラムの防除効果(平成20年)
散布月日: 3月21日

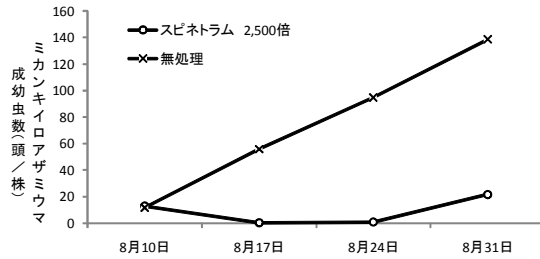


図3 ナスのミカンキイロアザミウマに対するスピネトラムの防除効果(平成23年)
散布月日: 8月10日

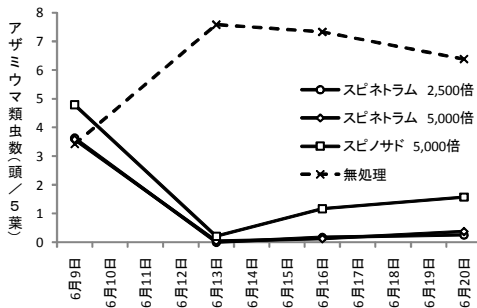


図4 キウのアザミウマ類に対するスピネトラムの防除効果(平成20年)
散布月日: 6月10日, 主要種はミカンキイロアザミウマ

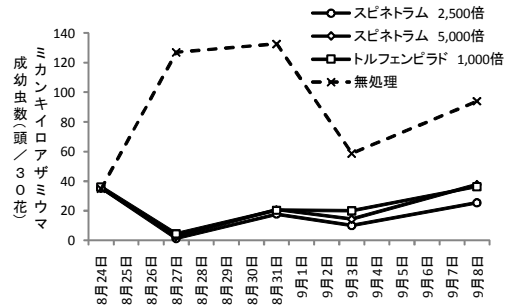


図5 トルコギキョウのミカンキイロアザミウマに対するスピネトラムの防除効果(平成22年)
散布月日: 8月25日

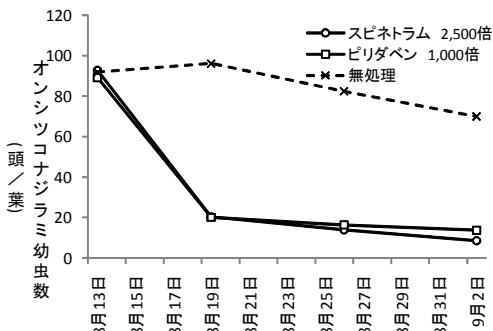


図6 トマトのオンシツコナジラミに対するスピネトラムの防除効果(平成21年)
散布月日: 8月14日

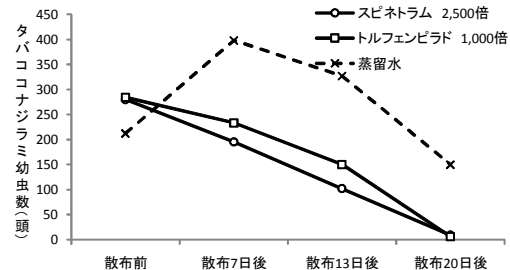


図7 タバコナジラミに対するスピネトラムの殺虫効果(室内検定, 平成21年)
食用ハウスキ葉に寄生した幼虫に各薬剤をハンドスプレーで散布。

3) 発表論文等 なし

4) 共同研究機関 なし